

学童期・思春期の歯肉炎予防対策事業におけるアンケート結果について

1 学童期・思春期の歯周病予防対策事業の概要

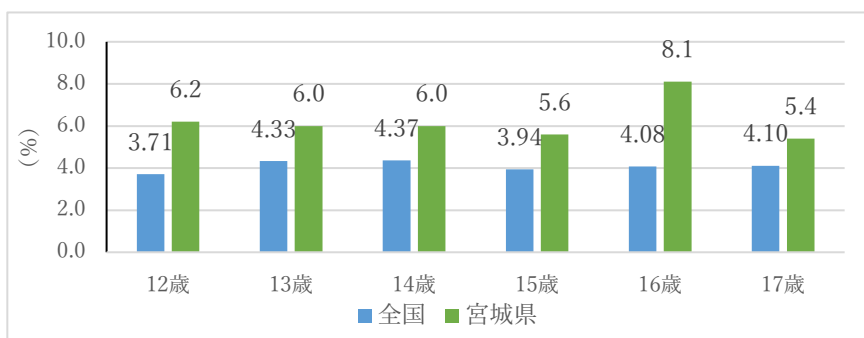
(1) 目的

本県の学童期・思春期の歯肉に異常のある人の割合は全国平均に比べて高く、17歳では、H28, H30, R2 で全国ワーストとなっていることから、歯間清掃用具等の使用体験を通じ、歯肉炎対策に関する啓発を行うもの。さらに、高校生は、卒業後の就職等により集団での保健指導を受ける機会が少なくなっていく世代であることから、その機会を提供し、自律的な歯科保健行動の定着を図るもの。

【参考】学童期・思春期の歯科口腔保健の現状

本県の学童期・思春期の歯肉に異常のある人の割合は全国平均に比べて高く、17歳では、H28, H30, R2 で全国ワーストとなっている。

・令和3年度 年齢別歯肉に異常のある人の割合



文部科学省「学校保健統計調査」

・歯肉に異常がある人（17歳）の割合の推移

	H28	H29	H30	R1	R2	R3
全国	4.79	4.68	4.41	4.38	4.34	4.10
宮城	9.9	5.7	10.6	6.3	8.5	5.4
順位	47	31	47	41	47	36

文部科学省「学校保健統計調査」

(2) 令和4年度の実施内容

11月の宮城県歯と口腔の健康づくり月間に併せ、県内4校の生徒1,470名を対象に以下の歯間清掃用具等を配布。併せて、使用方法を解説するチラシ「みがく場所によって道具を使い分けてむし歯と歯周病を予防しよう」を配布し、使用時の参考とするようにした。

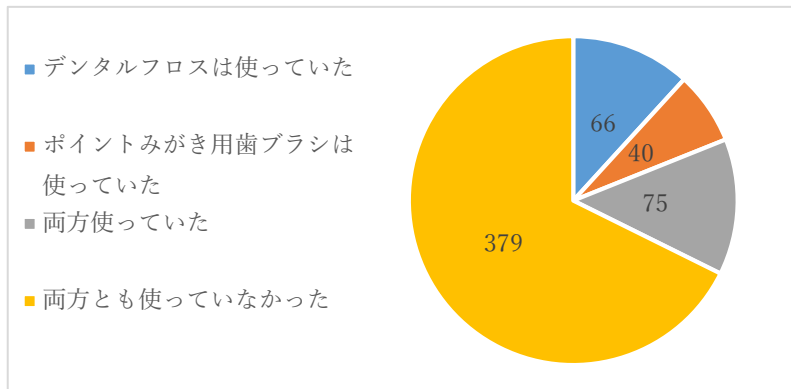
- ・デンタルフロス
- ・ポイントみがき用歯ブラシ
- ・オリジナルアニメむすび丸デザイン入り歯ブラシ

(3) アンケート調査の実施について

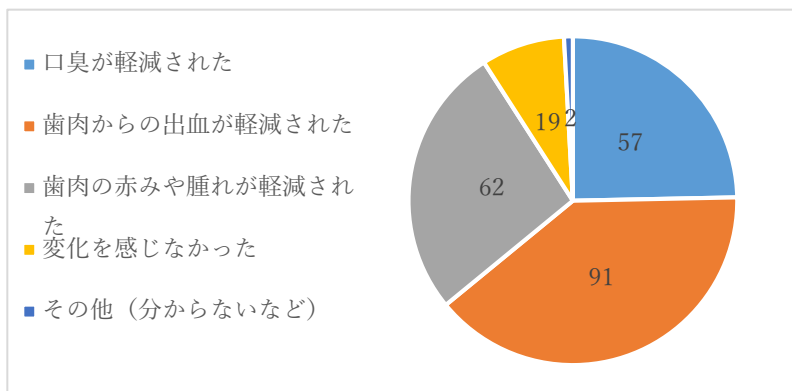
(2)の配布に併せ、使用后（約1か月後）の状況等についてみやぎ電子申請システムを活用したWEBアンケート調査を実施。560名から回答を得た。アンケート結果は次のとおり。

2 アンケート結果

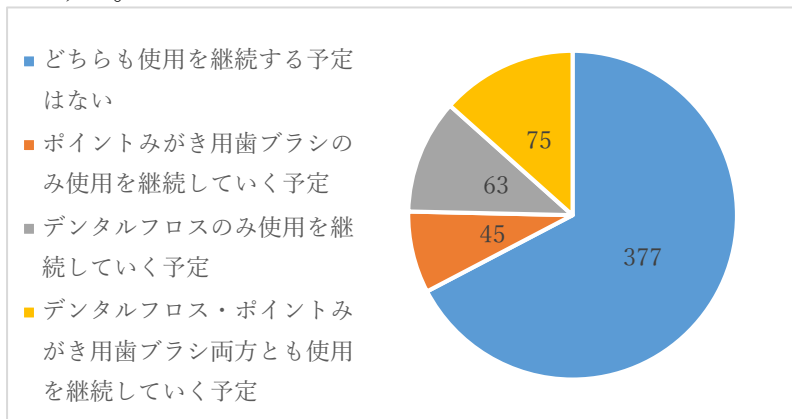
(問1) 11月に配布された「歯間清掃用具（デンタルフロス・ポイントみがき用歯ブラシ）」について、配布される前から使っていましたか。



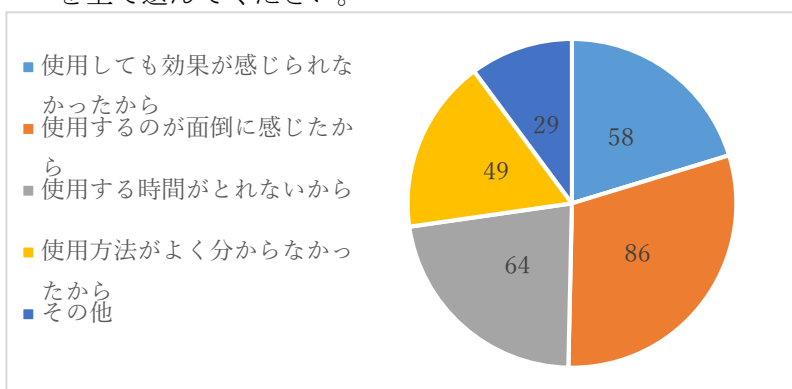
(問2) 上記(1)の設問で「両方使っていた」とお答えいただいた方以外の方にお伺いします。使用前後でお口の中の状況に変化がありましたか。近いものを全て選んでください。



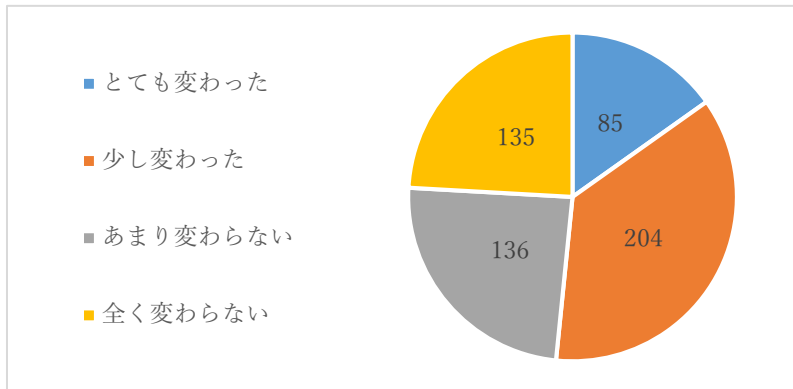
(問3) 今後も、デンタルフロスやポイントみがき用歯ブラシを自分で購入し、使用を継続していきますか。



(問4) 上記(3)の設問で「デンタルフロス・ポイントみがき用歯ブラシ両方とも使用を継続していく予定」と答えた方以外の方にお伺いします。使用を継続しない理由はなぜですか。近いものを全て選んでください。



(問5) デンタルフロス、ポイントみがき用歯ブラシや啓発チラシの配布を受けて、御自身のお口の健康についての意識は変わりましたか



3 次年度以降の取組の方向性

配布された歯間清掃用具を使用することにより、歯肉からの出血が軽減されるなどその効果を感じる方が多かった一方で、今後も使用を継続していきたいという方が少なかった。その理由として、使用することが面倒に感じた方が最も多かったことから、歯肉炎が将来の歯周病に繋がることなど、対策の必要性に関する理解を深め、口腔ケアへの興味をより強く持ってもらえるような啓発を意識して取り組んでいきたい。

さらに、使用方法がよく分からなかった方が一定数いることから、今後は、歯科医師や歯科衛生士が直接指導する体験型の啓発を行うことにより、適切な使用方法を体験により知る機会を積極的に提供していきたい。